少年少女わたしの作品

かぜ
一年　田中　こうま
西京区・桂坂小1年　田中　煌真

小さい花
伶奈
日野町・桜谷小3年　遠城　伶奈

東風
四年　杉嶌　一希
西京区・松陽小4年　杉嶌　一希

星明かり
小五　西本　あおい
八幡市・くすのき小5年　西本　葵

虫の観察
六年　谷口　力希斗
中京区・朱雀第八小6年　谷口　力希斗

万物生光輝
中三　瑞歩
西京区・樫原中3年　黒川　瑞歩

※応募時の学年で掲載しています。

作文

転生した女子高生
南区・凌風中2年　福田　あられ

この度、苦いもの大嫌いJK万野利菓子（まんのりかこ）は、千利休に転生してしまいました…。って、なんで転生したんだっけ？

「そりゃ茶道を馬鹿にしたからに決まっておるじゃろ。」

こ、この声は！後ろを振り返ると…千利休だぁ！しかも透けてるぅ！

「ん？　当たり前じゃろ。お主に体を貸しとるからな。幽霊になるしかないのだ。」

おぉ…なるほど？

「お菓子じゃ。先に食べておれ。お茶を点ててくれるのか。苦いの嫌いなんだよなぁ…。ちょ、頂戴いたします。う～ん甘い！ほっぺた落ちそ～。

「ほれ、お抹茶ができたぞ。」

げっ。

「まぁそんな顔するな。まずは左手でお茶碗を抱えて二回まわす。お茶碗の柄を楽しむのじゃ。」

柄か…。確かに濃淡とかキレイだな。

「飲んでよいぞ。」

つ…ついに…ぐいっ…。あれ…苦くない…おいしい！

「そうじゃろ。甘いお菓子を食べた後だから苦味が旨味に変わるのだ。」

そして何度か口をつけ飲み切った。

「茶道は良いだろう。何事も体験することが大切なのだ。忘れるでないぞ…。」

ここで私は目が覚めた。たまには転生も悪くはないかもしれない。

ぼくの犬
伏見区・京都聖母学院小1年　田中　陽翔

こくごで、犬のおはなしをよみました。ぼくも、犬をかっています。犬の名まえは「ナナ」といいます。

きのうもきょうも、いっぱいあそびました。そして、ぼくにあまえて、いっぱいあそびたいみたいです。大すきです。

ぼくは、ナナちゃんがりんごをたべるときに、よだれをたらしているところが、とてもかわいいです。

ナナちゃんとあそんで、たのしかったです。

詩

なわとび
草津市・矢倉小2年　小島　翔大

なわとび
ビュンビュン
まえとび　100回めざして
ピョンピョンピョン
うさぎやバッタは
もうできたかな
ぼくはまだまだ
できるまで
ピョンピョンピョン
体がポカポカ
ピョンピョンピョン

おとうとのだいちゃん
長岡京市・長岡第五小1年　田上　怜奈

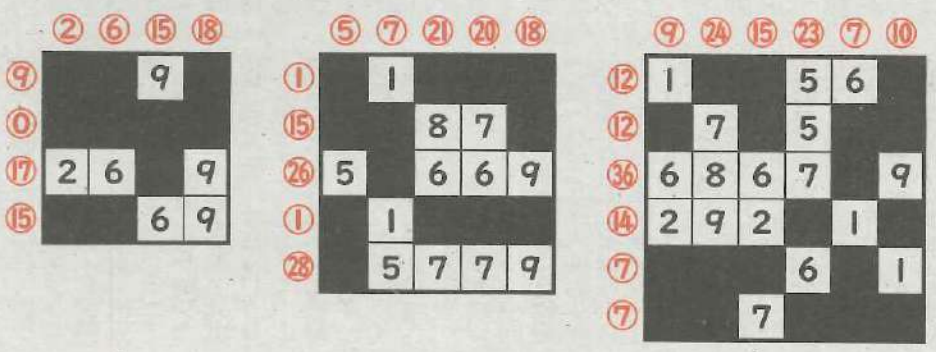
おとうとのだいちゃん
ねむっていて
きがついたら
ベビーカーのなか
あたりをみまわすと
あれれ
ここどこだ？

作品募集　小、中学生の作文・詩（いずれも400字詰め原稿用紙1枚以内）および習字（半紙）で、自分の作品に限ります▽作品には郵便番号、住所、氏名、電話番号、学校名、学年を書いたメモをノリづけして、〒604－8577　京都新聞社文化部「少年少女わたしの作品」係へ▽添削することもあります▽作品は返却しません。採用分には図書カードを贈ります。

京大博士パズル　答え

①文作りパズル

・おうちでゆっくり家族と
過ごす連休も、
案外悪くないものだ。

・息が切れているのは、学校から家まで
全速力で走って帰ったからだ。

②ぬり算＋